

2024年9月12日

NTTコミュニケーションズ株式会社

NTT Com の大阪第 7 データセンターが 「NVIDIA DGX-Ready Data Center」プログラムに認定

ドコモグループの法人事業ブランド「ドコモビジネス」を展開する NTT コミュニケーションズ株式会社(以下 NTT Com)は、NVIDIA のアクセラレーテッドコンピューティング^{※1} インフラを安心してコロケーションできるデータセンターとして「[NVIDIA DGX-Ready Data Center](#)」プログラムの認定(以下 本認定)を受けました。

本認定は、大阪府茨木市にある大阪第 7 データセンター(以下 OS7)が取得しました。

本認定取得について

「NVIDIA DGX-Ready Data Center」プログラムは、ストレージと冷却設備などを考慮した上で、[NVIDIA DGX](#) プラットフォームなどの高密度^{※2} なアクセラレーテッドコンピューティングシステムをホストし、「[NVIDIA DGX SuperPOD](#)」などのスーパーコンピュータークラスタに対応可能なデータセンターを認定するプログラムです。また NTT Com はデータセンター事業者として、NVIDIA Partner Network にも加入しています。

本認定取得にあたって、NTT Com が提供する高品質で信頼性の高いネットワークサービスや、ISP (Internet Service Provider) など各種事業者のネットワーク相互接続点である IX(インターネット・エクスチェンジ)^{※3} との接続性に優れ、データセンターにおける理想的なネットワーク環境を有することが評価されています。また、生成 AI などに活用される高密度かつ高効率のラックを収容する設備設計が可能であることが認定されており、企業にとって、最先端のシステムや大規模なコンピューティングシステムに最適な環境であることも評価されています。

OS7 「Green Nexcenter[®]」 データセンターについて

OS7 は、高密度なアクセラレーテッドコンピューティングシステムに対応した液冷方式^{※4} のコロケーションデータセンター「Green Nexcenter[®]」の提供予定拠点です。OS7 においては、データセンター間などを超高速広帯域で接続する「APN 専用線プラン powered by IOWN」、クラウド型 GPU サービス、その他ネットワークやストレージなどを提供し、企業や事業者の ICT 環境を支援します。

主な特長は以下の通りです。

1. 「Green Nexcenter[®]」

NTT Com は従来のデータセンター、「Nexcenter」をさらに進化させた環境配慮型の超省エネデータセンターサービス「Green Nexcenter[®]」の展開を進めています。

「Green Nexcenter[®]」は「液冷方式」を採用し、通常のデータセンターでは対応が困難な高発熱サーバ

ーに対しても、従来の冷却技術を大きく上回る省エネ性能にて冷却機能を提供します。さらに、再生可能エネルギーを活用することにより「カーボンニュートラル」を実現する、最新鋭のデータセンターサービスです。

2. データセンター間などを接続する APN (All-Photonics Network) を提供

揺らぎの少ない超高速かつ超低消費電力を実現する最先端の光伝送技術 IOWN 構想^{※5}の主要技術を活用した「APN 専用線プラン powered by IOWN」により、OS7 を含めた NTT Com が有する全国約 70 か所のデータセンター間の接続が可能です。

3. 周辺ソリューションを含め NVIDIA アクセラレーテッドコンピューティング環境を一元的に提供

お客様の GPU サーバーに関するニーズや用途に応じて、「Green Nexcenter[®]」、ネットワークサービス、ストレージなどを活用し、一元的に NVIDIA アクセラレーテッドコンピューティング環境を提供します。

OS7 の仕様詳細

OS7 は 2019 年 12 月に提供を開始しました。サーバールーム面積約 4,600 m² (将来的に約 9,500 m²)、大阪市内や京都・神戸市内からのアクセスが良く、水害や地震などの災害リスクも低いエリアに立地しています。お客様のさまざまなご要望に対して棟やフロア単位で柔軟にカスタマイズ対応ができるキャンパス型^{※6}のデータセンターです。

提供価格やサービス仕様については、本件に関するお問い合わせ先にお問い合わせください。

今後の展望

NTT Com は、さらに拡大する生成 AI などの需要に応えていくため、高発熱サーバーの冷却や低消費電力を実現するデータセンター「Green Nexcenter[®]」を 2025 年 3 月に横浜第 1 データセンターおよび OS7 で、2026 年 3 月に新規オープン予定の「京阪奈データセンター (仮)」(京都府精華町) で展開します。

さらに、その他のデータセンターにおいても「Green Nexcenter[®]」の標準装備を進めています。

※1：アクセラレーテッドコンピューティングは、並列処理によって AI、データ分析、シミュレーション、ビジュアライゼーションなどの要求の厳しいアプリケーションの処理を高速化するものです。

※2：高密度とは面積当たりの電力容量が大きいことです。

※3：IX とは ISP 事業者やデータセンター事業者などが相互接続して、経路情報やトラフィックを交換するための相互接続点です。

※4：液冷方式とはサーバー内の CPU/GPU の上に置かれたコールドプレートと呼ばれる金属を介し、冷却液を用いて冷却を行う方式です。

※5：IOWN 構想とは、最先端の光技術などを使って豊かな社会を創るためのネットワーク・情報処理基盤構想のことです。NTT Com は「IOWN[®]」を推進する IOWN Global Forum[™]のメンバーです。

※6：キャンパス型とは同一敷地内に広い拡張スペースを有し、需要に応じた柔軟な拡張ができるデータセンターです。